

学校コード F226310107812

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 短大の学科の設置

注1

**届出**

注2

京都文教短期大学

ライフデザイン総合学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人京都文教学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	短期大学学長室
職名・氏名	室長・緒方秀敏
電話番号	0774-25-2520 (内線: 2520)
(夜間)	0774-25-2405 (内線: 2405)
e-mail	t-kikaku@po.kbu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## ライフデザイン総合学科

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	2
2. 授業科目の概要 . . . . .	6
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	12
4. 既設大学等の状況 . . . . .	13
5. 教員組織の状況 . . . . .	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	29
7. その他全般的事項 . . . . .	31

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人京都文教学園

## (2) 大学名

京都文教短期大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒611-0041

京都府宇治市槇島町千足80番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシノ シュウロウ) 仁科 周朗 (令和元年6月)		
学長	(モイ ヒデキ) 森井 秀樹 (令和3年4月)		
学部長			
学科長等	(カハラ マリ) 小椋 真理 (令和5年4月)	(ヤマシタ アツオ) 山下 篤央 (令和5年4月)	学科運営体制見直しのため (5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ライフデザイン総合学科 短期大学士(家政学)	家政関係	2年	100人	2年次 3年次 4年次 人 人 人	200人		<基礎となる学部等> ライフデザイン学科 食物栄養学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	0.93倍	-倍	0.93倍	-倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	110					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	110					
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	104					
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	93					
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.93					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	93 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/				/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [-] (-)	- [-] (-)
計			[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和5年度	93 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{93} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







卒業要件及び履修方法

<p><b>【ライフデザインコース】</b></p> <p>◇共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（〔実践仏教入門(1単位)、生活の中の仏教(1単位)、初年次セミナー(1単位)、情報リテラシー(2単位)〕</li> <li>「生活といのち」「芸術と文化」「情報と社会」の3領域にわたって、計10単位以上修得</li> </ul> <p>◇専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（基幹科目群4科目7単位）</li> <li>ベーシック科目群の中から5科目以上修得</li> <li>計36単位以上修得</li> </ul> <p>◇卒業には、2年以上（4年以内）在学し、合計62単位以上を修得</p> <p><b>【栄養士コース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（〔実践仏教入門(1単位)、生活の中の仏教(1単位)、初年次セミナー(1単位)、情報リテラシー(2単位)〕</li> <li>「生活といのち」「芸術と文化」「情報と社会」の3領域にわたって、計10単位以上修得</li> </ul> <p>◇専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（基幹科目群4科目7単位）</li> <li>ベーシック科目群の中から2科目以上修得</li> <li>計36単位以上修得</li> </ul> <p>◇卒業には、2年以上（4年以内）在学し、合計62単位以上を修得</p>
--

卒業要件及び履修方法

<p><b>【ライフデザインコース】</b></p> <p>◇共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（〔実践仏教入門(1単位)、生活の中の仏教(1単位)、初年次セミナー(1単位)、情報リテラシー(2単位)〕</li> <li>「生活といのち」「芸術と文化」「情報と社会」の3領域にわたって、計10単位以上修得</li> </ul> <p>◇専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（基幹科目群4科目7単位）</li> <li>ベーシック科目群の中から5科目以上修得</li> <li>計36単位以上修得</li> </ul> <p>◇卒業には、2年以上（4年以内）在学し、合計62単位以上を修得</p> <p><b>【栄養士コース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（〔実践仏教入門(1単位)、生活の中の仏教(1単位)、初年次セミナー(1単位)、情報リテラシー(2単位)〕</li> <li>「生活といのち」「芸術と文化」「情報と社会」の3領域にわたって、計10単位以上修得</li> </ul> <p>◇専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業必修科目の修得（基幹科目群4科目7単位）</li> <li>ベーシック科目群の中から2科目以上修得</li> <li>計36単位以上修得</li> </ul> <p>◇卒業には、2年以上（4年以内）在学し、合計62単位以上を修得</p>
--

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

- カリキュラムの見直しにより、「生活の中の仏教」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- 兼任教員退職の理由により、「くらしと憲法」を令和5年度は非開講に変更。
- 教育充実のために、「初年次セミナー」・「栄養教育論実習Ⅰ」・「パーソナルカラーコーディネート演習」・「ネイルケア演習」の担当者を追加。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	109 科目	0 科目	117 科目	8 科目 [       ]	109 科目 [       ]	0 科目 [       ]	117 科目 [       ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	くらしと憲法	2	1後	一般	選択	兼任教員の急な退職、2後にも開講
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

兼任教員の急な退職であったため、代替教員の手配が困難であった。当該科目は2後にも受講可能な科目であるため、令和6年度には開講する旨をオリエンテーション・履修登録説明において学生に周知を図った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{117} = \boxed{0.85} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都市教大と共用					
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	63,193m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	63,193m <sup>2</sup>						
	運動場用地	m <sup>2</sup>	14,575m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	14,575m <sup>2</sup>						
	小 計	m <sup>2</sup>	77,768m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	77,768m <sup>2</sup>						
	そ の 他	m <sup>2</sup>	3,393m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3,393m <sup>2</sup>						
	合 計	m <sup>2</sup>	81,161m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	81,161m <sup>2</sup>						
(2) 校 舎	専 用	12,254m <sup>2</sup> (12,254m <sup>2</sup> )	22,957m <sup>2</sup> (22,957m <sup>2</sup> )	10,969m <sup>2</sup> (10,969m <sup>2</sup> )	46,180m <sup>2</sup> (46,180m <sup>2</sup> )	京都市教大と共用					
	共用										
(3) 教 室 等	講 義 室	33室	演 習 室	23室	実験実習室	34室	情報処理学習施設	67室 (補助職員4人6人)	語学学習施設	0室 (補助職員 0人)	
	専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
		ライフデザイン総合学科			24 13 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	上段2024年度末 下段2022年度末			
	ライフデザイン 総合学科	125368 [10294] -(124768 [10314]) (124860 [10234])	650 [50] (650 [50])	3 [3] (3 [3])	1920 -(1935) (1953)	0 0	0 0	大学全体での共用 学部単位で特定不能な ため、大学全体の数			
	計	125368 [10294] -(124768 [10314]) (124860 [10234])	650 [50] (650 [50])	3 [3] (3 [3])	1920 -(1935) (1953)	0 0	0 0				
(6) 図 書 館	面 積	584m <sup>2</sup>		閱 覧 座 席 数	70	収 納 可 能 冊 数		80,000			
	面 積	1,839m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要							
(7) 体 育 館			テニスコート		弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	予算の見直しによる変更		
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	700千円	700千円 550千円	700千円 550千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	ライフデザイン コース	1330千円	1130千円								
栄養士コース	1340千円	1170千円									
学生納付金以外の維持方法の概要											

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京都文教短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
ライフデザイン総合学科	2	100	0	200	-	0.93	-	0.93	-	-	令和5	京都府宇治市横島町千足90番地	令和5年4月学生募集停止					
ライフデザインコース	2	60	0	120	短期大学士(家政学)	0.95	-	0.95	-	-	令和5	同上						
栄養士コース	2	40	0	80	短期大学士(家政学)	0.90	-	0.90	-	-	令和5	同上						
ライフデザイン学科	2	-	-	-	短期大学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成23	同上						
食物栄養学科	2	-	-	-	短期大学士(家政学)	-	-	-	-	-	昭和35	同上						
幼児教育学科	2	150	0	300	短期大学士(幼児教育学)	0.63	-	0.62	-	-	昭和41	同上						
大学全体	2	250	0	500	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称	京都文教大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
総合社会学部													令和2年4月学生募集停止					
総合社会学科	4	200	2	804	学士(総合社会学)	1.06	-	1.09	-	-	平成25	京都府宇治市横島町千足90番地						
臨床心理学部																		
臨床心理学科	4	150	1	602	学士(臨床心理学)	1.12	-	1.14	-	-	平成20	同上						
教育福祉心理学科	4	-	-	-	学士(教育福祉心理学)	-	-	-	-	-	平成25	同上						
こども教育学部																		
こども教育学科	4	90	2	364	学士(こども教育学)	1.02	-	0.99	-	-	令和2	同上						
大学全体	4	440	3年次5	1770	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。  
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <ライフデザイン総合学科>

#### (1) -① 担当教員表

##### 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小椋 真理 (-) <令和5年4月> 修士(理学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 実践栄養学※ 食事計画論 給食管理実習Ⅰ 栄養士校外実習事前事後指導 栄養士校外実習 栄養士演習※ フードスタイリングレッスン※ 献立応用演習 給食管理実習Ⅱ
専	教授	山田 智子 (-) <令和5年4月> 博士(学術)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 住生活論 インテリアデザイン論 インテリアコーディネート演習 キッチンプランニング CAD実習 福祉住環境論

##### 【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小椋 真理 (-) <令和5年4月> 修士(理学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 実践栄養学※ 食事計画論 給食管理実習Ⅰ 栄養士校外実習事前事後指導 栄養士校外実習 栄養士演習※ フードスタイリングレッスン※ 献立応用演習 給食管理実習Ⅱ <b>初年次セミナー※</b> <b>栄養マネジメント論</b>
専	教授	山田 智子 (-) <令和5年4月> 博士(学術)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 住生活論 インテリアデザイン論 インテリアコーディネート演習 キッチンプランニング CAD実習 福祉住環境論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	田中 恵子 <令和5年4月> (一) 博士(薬学)	専	教授	田中 恵子 (一) <令和5年4月> 博士(薬学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 医学・薬学一般 食品学基礎実験 栄養学 栄養士演習※			ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 医学・薬学一般 食品学基礎実験 栄養学 栄養士演習※ <b>生化学</b>
専	教授	プッセル 良風 (一) <令和5年4月> 博士(哲学)	専	教授	プッセル 良風 (一) <令和5年4月> <b>博士(Ph. D. 英国)</b>
		異文化理解 ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ			異文化理解 ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
専	教授	森井 秀樹 (一) <令和5年4月> 体育学修士	専	教授	森井 秀樹 (一) <令和5年4月> 体育学修士
		実践仏教入門 応急手当実習 健康体力評価実習 体力づくり演習			実践仏教入門 応急手当実習 健康体力評価実習 体力づくり演習
専	准教授	桑原 千幸 (一) <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	桑原 千幸 (一) <令和5年4月> 博士(学術)
		初年次セミナー 情報機器の操作 キャリアプランニング※ コンピュータ・サイエンス ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 情報処理概論 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 応用プレゼンテーション演習 デジタルメディア表現			初年次セミナー 情報機器の操作 キャリアプランニング※ コンピュータ・サイエンス ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 情報処理概論 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 応用プレゼンテーション演習 デジタルメディア表現



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	小西 康仁 (一) <令和5年4月> 修士(農学)	専	准教授	小西 康仁 (一) <令和5年4月> 修士(農学)
		宇治学 ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 生化学基礎 生化学実験 食品学Ⅱ 食品学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 栄養士演習※			宇治学 ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 生化学基礎 生化学実験 食品学Ⅱ 食品学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 栄養士演習※ <b>初年次セミナー※</b>
専	准教授	坂本 千科絵 (一) <令和5年4月> 修士(生活科学)	専	准教授	坂本 千科絵 (一) <令和5年4月> 修士(生活科学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 栄養士基礎実習 給食管理論 給食管理実習Ⅰ 栄養士校外実習事前事後指導 栄養士校外実習 栄養士演習※ フードスタイリングレッスン※ 給食管理実習Ⅱ			ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 栄養士基礎実習 給食管理論 給食管理実習Ⅰ 栄養士校外実習事前事後指導 栄養士校外実習 栄養士演習※ フードスタイリングレッスン※ 給食管理実習Ⅱ <b>初年次セミナー※</b> <b>栄養教育論実習Ⅰ※</b>
専	准教授	仲宗根 充修 (一) <令和5年4月> 博士(文学)	専	准教授	仲宗根 充修 (一) <令和5年4月> 博士(文学)
		生活の中の仏教 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ TOEIC基礎 TOEIC発展			生活の中の仏教 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ TOEIC基礎 TOEIC発展

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	福田 小百合 (一) <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	福田 小百合 (一) <令和5年4月> 博士(学術)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ フードスタイリング演習 フードカルチャー クッキングクリエイティブ実習 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 栄養士演習※			ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ フードスタイリング演習 フードカルチャー クッキングクリエイティブ実習 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 栄養士演習※
専	准教授	望月 美也子 (一) <令和5年4月> 修士(生活科学)	専	准教授	望月 美也子 (一) <令和5年4月> 修士(生活科学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養学実習 臨床栄養学実習 実践栄養学※ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養士演習※			ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養学実習 臨床栄養学実習 実践栄養学※ 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論実習Ⅰ※ 栄養士演習※ <b>初年次セミナー※</b>
専	准教授	山下 篤央 (一) <令和5年4月> Master of Science 米国	専	准教授	山下 篤央 (一) <令和5年4月> Master of Science 米国
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 健康マネジメント論 ビジネス実務演習 インターンシップ 健康づくり演習 ダンス			ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 研究ゼミナールⅠ 研究ゼミナールⅡ 健康マネジメント論 ビジネス実務演習 インターンシップ 健康づくり演習 ダンス <b>パーソナルカラーコーディネート演習 ネイルケア演習</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩田 美智子 (一) <令和5年4月> 学士(家政学)
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 食生活論 食品と調理 フードデザイン実習 スイーツデザイン実習
兼任	教授	千古 利恵子 (一) <令和5年4月> 修士(文学)
		プレゼンテーション演習
兼任	教授	鳥丸 佐知子 (一) <令和6年10月> 博士(教育学)
		生活の心理学
兼任	准教授	齋藤 尚志 (一) <令和5年4月> 修士(文学)
		くらしと憲法
兼任	准教授	真下 知子 (一) <令和5年10月> 博士(人間科学)
		情報リテラシー
兼任	講師	市川 順子 (一) <令和5年4月> 短期大学卒
		キャリアプランニング※
兼任	講師	岩田 薫 (一) <令和5年4月> 学士(文学)
		初年次セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩田 美智子 (一) <令和5年4月> <b>家政学士</b>
		ライフデザイン総合論※ ライフデザイン総合演習 食生活論 食品と調理 フードデザイン実習 スイーツデザイン実習
兼任	教授	千古 利恵子 (一) <令和5年4月> <b>文学修士</b>
		プレゼンテーション演習
兼任	教授	鳥丸 佐知子 (一) <令和6年10月> 博士(教育学)
		生活の心理学
兼任	准教授	真下 知子 (一) <令和5年10月> 博士(人間科学)
		情報リテラシー
兼任	講師	市川 順子 (一) <令和5年4月> 短期大学卒
		キャリアプランニング※
兼任	講師	岩田 薫 (一) <令和5年4月> <b>文学士</b>
		初年次セミナー※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 美智子 (一) <令和6年4月> 学士(家政学)
		食生活論 食品と調理 フードデザイン実習 スイーツデザイン実習 ブレッドデザイン実習 調理学実習Ⅲ
兼任	講師	石見 恵子 (一) <令和5年10月> 博士(医学)
		生化学 栄養士演習※ 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	梅田 隆司 (一) <令和5年4月> 学士(芸術)
		芸術論
兼任	講師	大谷 秀幸 (一) <令和5年10月> 学士(法学)
		ビジネス実務総論
兼任	講師	三室 久枝 (一) <令和5年4月> 学士(家政学)
		消費生活論
兼任	講師	岡本 浄実 (一) <令和5年4月> 修士(健康科学) 修士(生活福祉学)
		こころのしくみ
兼任	講師	於保 可那子 (一) <令和5年10月> 専門学校卒
		ファッションデザイン論 ソーイング基礎実習 ファッションコーディネート演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩田 美智子 (一) <令和6年4月> <b>家政学士</b>
		食生活論 食品と調理 フードデザイン実習 スイーツデザイン実習 ブレッドデザイン実習 調理学実習Ⅲ
兼任	講師	石見 恵子 (一) <令和5年10月> 博士(医学)
		<b>生化学(削除)</b> <b>栄養士演習※(削除)</b> 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ
兼任	講師	梅田 隆司 (一) <令和5年4月> 学士(芸術)
		芸術論
兼任	講師	大谷 秀幸 (一) <令和5年10月> <b>法学士</b>
		ビジネス実務総論
兼任	講師	三室 久枝 (一) <令和5年4月> <b>家政学士</b>
		消費生活論
兼任	講師	岡本 浄実 (一) <令和5年4月> 修士(健康科学) 修士(生活福祉学)
		こころのしくみ
兼任	講師	於保 可那子 (一) <令和5年10月> 専門学校卒
		ファッションデザイン論 ソーイング基礎実習 ファッションコーディネート演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	串田 敏美 (-) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学専門職)
		ソーシャルマナー
兼任	講師	桑木 康宏 (-) ＜令和5年10月＞ 学士(情報工学)
		コンピュータ・サイエンス
兼任	講師	小泉 友則 (-) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		人権といのち
兼任	講師	酒巻 裕美 (-) ＜令和5年4月＞ 短期大学卒
		ボディエスティック演習
兼任	講師	末吉 浩子 (-) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		色彩と生活デザイン
兼任	講師	高橋 真紀 (-) ＜令和5年4月＞ 短期大学卒
		情報機器の操作 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 応用プレゼンテーション演習 CAD実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	串田 敏美 (-) ＜令和5年4月＞ <b>経営学修士(専門職)</b>
		ソーシャルマナー
兼任	講師	桑木 康宏 (-) ＜令和5年10月＞ 学士(情報工学)
		コンピュータ・サイエンス
兼任	講師	小泉 友則 (-) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		人権といのち
兼任	講師	酒巻 裕美 (-) ＜令和5年4月＞ 短期大学卒
		ボディエスティック演習
兼任	講師	末吉 浩子 (-) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		色彩と生活デザイン
兼任	講師	高橋 真紀 (-) ＜令和5年10月＞ 短期大学卒
		<b>情報機器の操作(削除)</b> <b>コンピュータ演習Ⅰ(削除)</b> <b>コンピュータ演習Ⅱ(削除)</b> 応用プレゼンテーション演習 CAD実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長尾 典子 (一) ＜令和6年4月＞ 修士(生活環境学)
		食空間コーディネート演習
兼任	講師	中谷 友机子 (一) ＜令和5年4月＞ 修士(化粧ファッション学)
		衣生活論 ファッションビジネス論
兼任	講師	西 彰子 (一) ＜令和6年10月＞ 修士(家政学)
		公衆栄養学
兼任	講師	久木 久美子 (一) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		食品学 I
兼任	講師	樋爪 利行 (一) ＜令和5年10月＞ 修士(経済学)
		簿記演習
兼任	講師	廣田 有加里 (一) ＜令和5年10月＞ 修士(生活環境学)
		栄養教育論 II
兼任	講師	松川 恵梨子 (一) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		ダンス
兼任	講師	三ツ木 美奈 (一) ＜令和6年10月＞ 学士(文学)
		セルフデザイン演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長尾 典子 (一) ＜令和6年4月＞ 修士(生活環境学)
		食空間コーディネート演習
兼任	講師	西 彰子 (一) ＜令和6年10月＞ <b>家政学修士</b>
		公衆栄養学
兼任	講師	久木 久美子 (一) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		食品学 I
兼任	講師	樋爪 利行 (一) ＜令和5年10月＞ 修士(経済学)
		簿記演習
兼任	講師	廣田 有加里 (一) ＜令和5年10月＞ 修士(生活環境学)
		栄養教育論 II
兼任	講師	松川 恵梨子 (一) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		ダンス
兼任	講師	三ツ木 美奈 (一) ＜令和6年10月＞ 学士(文学)
		セルフデザイン演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	本末 隼 (一) <令和5年10月> 学士(社会福祉学)
		医療管理学概論 医療事務演習
兼任	講師	森口 稔 (一) <令和5年4月> Master of Science 米国
		コミュニケーション論 プレゼンテーション概論
兼任	講師	森村 政悦 (一) <令和6年4月> 学士(工学)
		インテリアエレメント インテリア設計演習
兼任	講師	山崎 圭世子 (一) <令和5年10月> 修士(食物学)
		栄養マネジメント論
兼任	講師	山脇 昌 (一) <令和5年10月> 医学博士(免疫学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ
兼任	講師	余吾 淳子 (一) <令和6年4月> 短期大学卒
		臨床栄養学 栄養教育論実習Ⅱ 栄養士演習※
兼任	講師	劉 宏成 (一) <令和6年10月> 修士(経営学)
		マーケティング論 マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	本末 隼 (一) <令和5年10月> 学士(社会福祉学)
		医療管理学概論 医療事務演習
兼任	講師	森口 稔 (一) <令和5年4月> Master of Science 米国
		コミュニケーション論 プレゼンテーション概論
兼任	講師	森村 政悦 (一) <令和6年4月> 学士(工学)
		インテリアエレメント インテリア設計演習
兼任	講師	山脇 昌 (一) <令和5年10月> 医学博士(免疫学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ
兼任	講師	余吾 淳子 (一) <令和6年4月> 短期大学卒
		臨床栄養学 栄養教育論実習Ⅱ 栄養士演習※
兼任	講師	劉 宏成 (一) <令和6年10月> 修士(経営学)
		マーケティング論 マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 仁宣 (一) ＜令和5年10月＞ 専門学校卒
		セルフヘアーメイク演習
兼任	講師	中山 友恵 (一) ＜令和5年10月＞ 短期大学部卒
		パーソナルカラーコーディネート演習
兼任	講師	平塚 美千子 (一) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		ネイルケア演習
兼任	講師	本田 真理 (一) ＜令和6年4月＞ 学士(商学)
		セルフメイクアップ演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 仁宣 (一) ＜令和5年10月＞ 専門学校卒
		セルフヘアーメイク演習
兼任	講師	中山 友恵 (一) ＜令和5年10月＞ 短期大学部卒
		パーソナルカラーコーディネート演習
兼任	講師	平塚 美千子 (一) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		ネイルケア演習
兼任	講師	本田 真理 (一) ＜令和6年4月＞ 学士(商学)
		セルフメイクアップ演習
兼任	講師	青野 久美子 (一) ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		情報機器の操作
兼任	講師	伊豆田 友美 (一) ＜令和5年4月＞ 博士(人間生活科学)
		衣生活論



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

  

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	知念 葉子 (一) <令和5年4月> 博士(生活環境学)
		ファッションビジネス論
兼任	講師	藤居 大樹 (一) <令和5年4月> 学士(政治学)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

(1) 教育的配慮に伴う科目担当の変更						
専任・兼任・兼任の別 (変更前担当者)	変更前担当者職位	変更前担当者氏名	担当科目名	専任・兼任・兼任の別 (変更後担当者)	変更後担当者職位	変更後担当者氏名
兼任	講師	石見 恵子	生化学	専任	教授	田中 恵子
兼任	講師	石見 恵子	栄養士演習※	専任	教授	田中 恵子
兼任	講師	高橋 真紀	情報機器の操作	兼任	講師	青野 久美子
兼任	講師	高橋 真紀	コンピュータ演習 I	兼任	講師	藤居 大樹
兼任	講師	高橋 真紀	コンピュータ演習 II	兼任	講師	藤居 大樹
兼任	講師	山崎 圭世子	栄養マネジメント論	専任	教授	小椋 真理

  

(2) 教育充実のための担当者追加			
専任・兼任・兼任の別 (変更前担当者)	変更前担当者職位	変更前担当者氏名	担当科目名
専任	教授	小椋 真理	初年次セミナー※
専任	准教授	小西 康仁	初年次セミナー※
専任	准教授	坂本 千科絵	初年次セミナー※
専任	准教授	望月 美也子	初年次セミナー※
専任	准教授	坂本 千科絵	栄養教育論実習 I ※
専任	准教授	山下 篤央	バーチャルコーディング演習
専任	准教授	山下 篤央	ネイルケア演習

  

(3) 前任者辞任に伴う担当者の変更						
専任・兼任・兼任の別 (変更前担当者)	変更前担当者職位	変更前担当者氏名	担当科目名	専任・兼任・兼任の別 (変更後担当者)	変更後担当者職位	変更後担当者氏名
兼任	講師	中谷 友机子	衣生活論	兼任	講師	伊豆田 友美
兼任	講師	中谷 友机子	ファッションビジネス論	兼任	講師	知念 葉子

  

(4) 兼任教員の退職に伴う科目非開講			
専任・兼任・兼任の別	担当者職位	担当者氏名	担当科目名
兼任	准教授	齋藤 尚志	くらしと憲法

  

(5) 担当科目の追加・削除に伴う採用年月の変更				
専任・兼任・兼任の別	担当者職位	氏名	変更前	変更後
兼任	講師	高橋 真紀	令和5年4月	令和5年10月

  

(6) 学位記表記変更				
専任・兼任・兼任の別	担当者職位	氏名	変更前	変更後
専任	教授	ブッセル 良風	博士(哲学)	博士(Ph. D. 英国)
専任	講師	岩田 美智子	学士(家政学)	家政学士
兼任	教授	千古 利恵子	修士(文学)	文学修士
兼任	講師	岩田 薫	学士(文学)	文学士
兼任	講師	岩田 美智子	学士(家政学)	家政学士
兼任	講師	大谷 秀幸	学士(法学)	法学士
兼任	講師	三室 久枝	学士(家政学)	家政学士
兼任	講師	串田 敏美	修士(経営学専門職)	経営学修士(専門職)
兼任	講師	西 彰子	修士(家政学)	家政学修士

  

(7) 誤記による年齢の変更				
専任・兼任・兼任の別	担当者職位	氏名	変更前	変更後
兼任	講師	余香 淳子	63	64
兼任	講師	中江 仁宣	34	35

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	2
5	
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	7	0	0	12	0	5	7	1	0	13	0
(5)	(7)	(1)	(0)	(13)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	7	1	0	13	0	5	7	0	0	12	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)  
・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
・教授 03/3/31時点在職者のうち定年まで在職する者 70 ・上記以外者 65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由								
							①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
							①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	該当なし	【認可】 遵守事項	履行中
認 可 時 (令和5年)	該当なし	【認可】 助言事項	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (是正)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (改善)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (法令違 反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (是正)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし	【AC】 指摘事項 (改善)	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <ライフデザイン総合学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>1. FD委員会</p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成17年4月1日よりFD委員会を設置、根拠規定として「京都文教短期大学FD委員会規程」。FD委員会は、FD活動の推進を目的とし、必要な事項を審議する。構成員として教務部長・各学科より選出された教員各1名以上・その他学長が認めたもの</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2023年度の開催状況（委員数8名 定足数6名）※2023年5月1日現在 ・第1回：2023年4月19日 8名出席 内4名教員出席 2022年度については10回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>本委員会は、目的を達成するために次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。</p> <p>(1) FD推進のための企画及び実施に関すること (2) 教育改善の為の研究及び研修に関すること (3) 教育環境の向上に関すること (4) FDに必要な予算に関すること (5) その他FDの推進に関すること (6) 授業(教育)改善に向けての制度的取組に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1) 授業アンケートの実施 2) FD研修会の開催 3) 授業・教授法改善 4) FD関連学外研修会の参加促進</p> <p>b 実施方法</p> <p>1) 授業アンケートはWEBでの実施をおこなっている。 2) FD研修会についてはFD委員会が企画立案の中心となり、全教員に対して実施している。 3) FD委員会内に授業・教授法改善のワーキンググループを設置している。 4) 外部のFD研修会などの情報を全教職員に提供し、参加を促している。</p>
--



c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 授業アンケート実施について、各学期の期末に年2回の実施している。
- 2) 2023年度のFD研修会は現在企画立案を進め、開催の準備中である。  
なお、2022年度は下記の通り主催・共催実施した。
  - ①FD研修会「今さら聞けないGoogle Workspace」
  - ②FD研修会「クォーター制について考える」
  - ③FD研修会「これならできるBYOD」
  - ④FD研修会「キャリア教育について話し合おう」
  - ⑤FD研修会「アセスメンター活用～シラバス作成にむけて～」
  - ⑥障がい学生支援にかかる研修会「学びのユニバーサルデザインについて」
  - ⑦障がい学生支援にかかる研修会「大学として合理的配慮を提供することとは」
  - ⑧学生相談室研修会「学生支援の理想と現実について考えよう」
- 3) FD委員会内の授業・教授法のワーキンググループで、年間計画・重点施策の達成に向けて会議、作業等を進めている。
- 4) 外部のFD研修会などの情報を全教職員に提供し、参加を促している。2022年度については約90件の案内をおこなった。2023年度も順次案内、参加促進をおこなっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 授業アンケートについてWeb上で実施をおこなっている。授業アンケート結果を教員にフィードバックし、授業改善計画書及び報告書の提出を求めている。
- 2) FD研修会終了後にアンケートを実施し、教員の満足度等の確認をおこない今後のFD研修会の内容検討に繋げている。また、アンケート結果について、FD委員を通じて学科で共有をおこなっている。
- 3) ワーキンググループの活動・課題の進捗状況については、適宜FD委員会で報告等を求めている。ワーキンググループの活動・実績をFD活動の年間報告書への記載を求めている。
- 4) 外部FD研修会に参加した者は、FD委員会内で報告をおこなう事となっており、FD委員会内で共有している。また、外部研修会参加のための予算を計上し参加促進をおこなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の中間と期末の年2回の実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果の集計についてはHPで公開している。授業改善計画書及び報告書内の受講生へのメッセージについては学生に別途公開している。

2. SD委員会

平成 24 年に京都文教短期大学 SD（スタッフ・ディベロップメント）規程を定め、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等の事項を規程に定めた。SD 規程の第 4条に「SD 委員会」設置について定めている。SD 委員会は、職種・職位ごとの役割・特性を考慮したうえで、当該年度の SD 実施方針及び計画を策定し、SD 研修会を実施している。

SD 実施方針により、1) 3つのポリシーに基づく自己点検評価・内部質保証に関する事項、2) 大学改革、教学マネジメント確立について理解を深める事項、3) 大学を取り巻く状況改善の知見を獲得する事項いずれかの研修会を実施する。本学の教職員は必ず参加することとしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置初年度のため、十分な自己点検・評価を行っていないが、設置の趣旨・目的を達成すべく学科を運営し、教育成果の点検・評価等についてその取り組みを進めている。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・令和5年7月 公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和2（2020）年に評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の短期大学評価を受審した。 令和9年に評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <input checked="" type="checkbox"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="checkbox"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="checkbox"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="checkbox"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( <input type="checkbox"/> ) ]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [ <input type="checkbox"/> ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。